

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情2第12号	受理年月日	令和2年6月9日
陳 情 者	[Redacted]		
件 名	緊急措置としてのオンライン教育に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>現在、目黒区においてもGIGAスクール構想を早急に進めていただいていると存じますが、それとは別に、Withコロナ時代における学校教育現場でのICTの活用について、各家庭の端末や目黒区の貸出端末を利用し、【一斉休校時・分散登校時】オンライン朝の会（分散登校の場合はリアルに教室に来ている児童・生徒と自宅待機の児童・生徒をつなぐ）、【通常登校時】zoomなどを利用してリアルな教室の授業にオンラインから参加できるようにする、の2点の実現をお願いします。</p> <p>前者のオンライン朝の会については、他区ですでに実現しており、たった5分の朝の会でも、その日の子どもたちの自宅学習の動機付けにつながり、子どもの生活リズムを整えることに大変有効であったと他区の保護者から声を聞いています。5月のように自宅学習を家庭に丸投げするのではなく、朝の会によって子ども1人で自宅学習に取り組めるよう、課題の目当てやノートの書き方等を先生から直接御指南いただきたいです。GIGAスクール構想が実現するまでは、行き過ぎた平等主義を優先するのではなく、教員や各家庭の端末回線を使うなど、あらゆる手段を講じて、子どもの継続的な学びを支援してほしいです。本陳情が御議論いただける頃には通常登校となっているかもしれませんが、またいつ来るかわからない第2波、第3波の際の休校・分散登校時にも、この対応は有効かと思えます。</p> <p>また、後者のオンライン授業参加については、家族や子ども本人の体調がすぐれないのに無理に登校してしまい、学校がクラスター化したという北九州市の事例から学び、学校を休むことが、授業の遅れ、先生と友だちとのコミュニケーションの機会がなくなる等の不利にならない制度を、緊急措置として導入していただきたいというものです。何らかの方策を取らない場合には、いつ目黒区立学校がクラスター化するかわからず、保護者としても安心して子どもを学校に通わせることができません。子ども本人が体調不良の場合はまだしも、家族が体調不良の場合に元気な子どもを休ませるとするのは、コロナ以前にはあまり考えられなかったことです。今までの常識・モラルでは対応しきれない非常事態です。だからこそ、これまでにない思い切った取り組みを導入していただけると、保護者の</p>			

協力も得やすいと思います。

第2波、第3波が想定されるため、保護者はとにかく不安です。GIGAスクール構想実現までの期間、上記2点を暫定的な緊急措置として、御検討をお願いいたします。

【陳情事項】

- 1 **【一斉休校時・分散登校時】** オンライン朝の会の実施してください。
- 2 **【通常登校時】** リアルな教室の授業にオンラインから参加できるようにしてください。
- 3 上記1及び2が難しい場合、①その理由、②乗り越えるべきハードル、③そのハードルの担当部署、責任者を教えてください。